

消防用設備の **落とし穴** について - 西日本防災システム



警報設備の **落とし穴**

火災通報装置



火災通報装置

起動ボタンを押すだけで、自動で消防（119番）への通報を行い、発信元の名称、住所、電話番号、付近の目印（通報内容は設置地域により違いがあります）などの情報を音声ロムにより、正確に伝えます。

その後**逆信**を取る事により、特に緊急に救助を依頼したい事故が発生しているとか、火が危険物施設へ延焼する可能性があるとか、脱出不可能な場所に誰かが閉じ込められている などの詳細情報を伝える事ができます。

こんな強い味方にも **落とし穴**が??

火災通報装置通報装置は**電話回線**を使っています。 もし回線に**異常**があれば?? そうです! **つながりません!!**



広域に及んだ災害や事故が発生した場面での使用はかなり**制限**される状況になるはずです。 **つながらない状況を理解してください!**

さらに現在設置中の火災通報装置は、**光回線**、**IP回線**には**対応していません**。これらの回線ですと、消防からの**逆信**が取れません。必ず**アナログ回線**が必要になります。

担当者が違うため、知らない間に回線が**光回線**に変更になっている可能性があります。万が一回線が変更されても火災通報装置側でその変更を検出し、警報を出す機能はありません。

万が一回線が光などに変更後は、**アナログ回線**を通報装置用に契約する必要がある可能性があります。

H.29年2月現在IP対応機種が出ています



POINT! **点検業者のかたへ!**

●点検時に簡易交換機でのテストだけでなく、**実動テスト**（必ず管轄指令に了解を得てください）を行なってください。

簡易交換機ですと、回線種別に関係なく送信、逆信のテストが出来てしまいます!

POINT! ●訓練で使用する場合の**大変重要な**注意点もあります。次の **訓練に関して** を参考に!

設備については →

万が一 **火災通報装置が機能しない場合!**

次はどうする? **を**

常に頭の申に!



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ →